

■実績

平成7年(1995年)3月のカナダからはじまり、今年で20年が経過。春休みにカナダへ、夏休みにオーストラリアへの派遣事業を継続しており、今年夏実施した第42回のオーストラリア体験団で延べ3,319名の小中学生を海外へ送りだしました。

■特色

(1) 確かな信用と募集体制

静岡県校長会をはじめとし、募集地区の校長会や教育委員会などの教育関係機関から多数の後援をいただくことにより、所属の学校長をとおして団員の募集がなされます。こういった、強靱なバックアップ体制があることから、保護者のみなさまに理解を得てもらいやすい事業として企画しております。

(2) 誰でも参加できる

市町で行われている海外派遣事業とは違い、各地区や学校で団員を選抜するような派遣企画ではありません。小学5年生から中学3年生まで、誰でも申し込みができます。

(3) 現職教員が指導員として同行

引率者については、該当募集地区の校長会から生徒指導、英語科、養護教諭とも学校現場で最も活躍している優秀な人材を当体験団の引率者として、推薦していただきます。(養護教諭は2名を基本に必ず同行します)

(4) 事前研修会

出発の1カ月前あたりから、該当募集地区で事前研修会を各地区2回行います。研修会の中では、英語指導や保健指導も行われ、また、養護教諭が保護者と面談することにより、子供たちの健康面でのケアも、万全を期した対応をとることができております。

(5) 現地校とホームステイ

この体験団では、現地の受入体制も通常の語学研修ツアーとは異なります。ホームステイ先については、現地の学校が主体となり保護者へ告知し、自ら積極的に受入するという意思のあるお宅にのみお願いをしております。したがって金銭目的の受入ではないことも明確です。(一般の語学研修プランや留学プランで手配をするホームステイ先についての多くは、金銭収入を目的として部屋を貸す方が多くみられます) 受入の候補が揃うと現地のコーディネーターが家庭訪問し、家屋や家族についてのチェックを実施します。家族の犯罪歴についても警察の協力のもと照会します。

ホームステイ先の決定についても、通例早くても2週間前ですが、この体験団においては1カ月前から3週間前で確定しております。ほとんどのホームステイ先については、その家庭の子供が訪問する学校に通っていることも特徴のひとつです。特にオーストラリアについては、学校はもちろんのこと、町をあげてこの体験団の受け入れを楽しみに待っていてくれます。これも20年の歴史から築き上げた友好の証です。